

布の印のつけ方や  
接着芯の貼り方は  
縫う前の下準備で  
詳しく説明しているよ  
まだ見たことがない  
人は先に見てね!

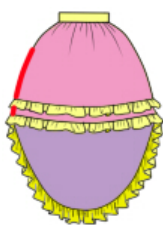
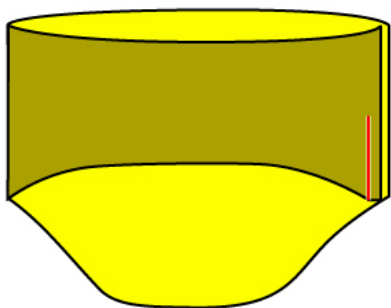
→ 縫う前の下準備

■表 ■裏

裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。

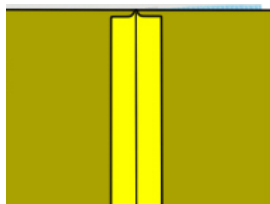
型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。

洗濯をしないのであれば、木工用ボンドを水で薄めて塗ってもほつれどめになります。

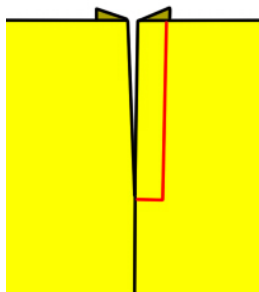


1段目と2段目のスカートの脇を縫ってください。

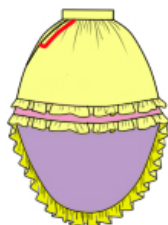
上側は着替えるためのあき(人間の服で言うファスナーの付く所)なのであけてください。



縫い代を左右に折ってください。



下の段のスカートだけ、表から前スカート側の縫い代を縫ってください。

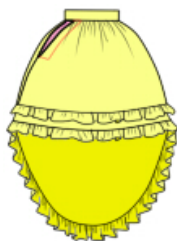


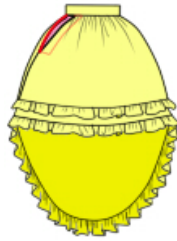
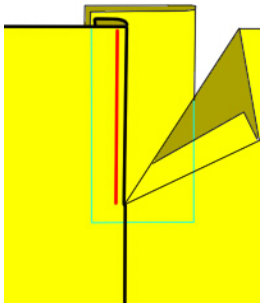
布用ボンドや、熱接着の両面テープでもいいです。

丈の長いほうが下の段です。

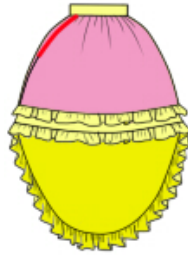
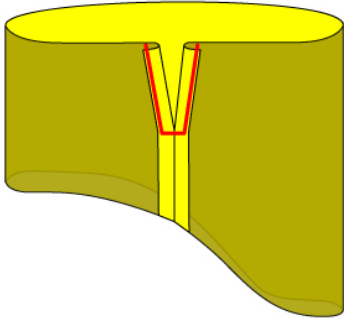


持ち出しをアイロンで半分に折ってください。

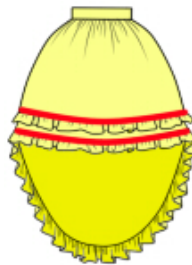
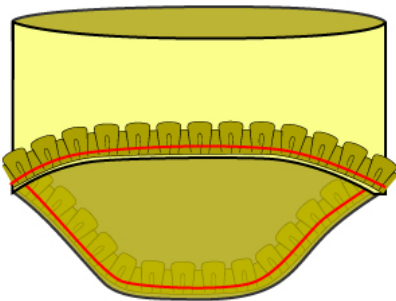




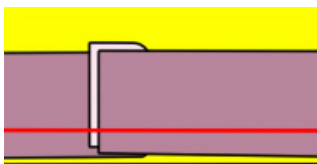
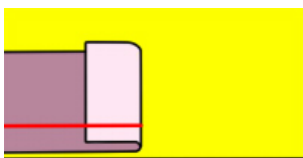
下の段のスカートに後身頃側の下に半分に折った持ち出しを置き、重ねて縫ってください。  
このとき前側のスカートはよけてください。



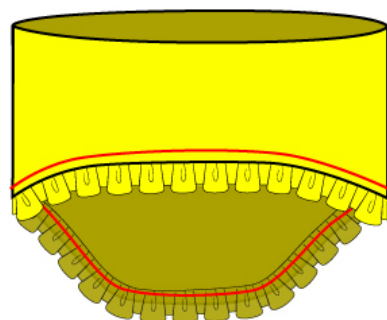
上の段の脇は縫い代を左右に折って縫ってください。  
布用ボンドや、[熱接着の両面テープ](#)でもいいです。  
丈の短いほうが上の段です。



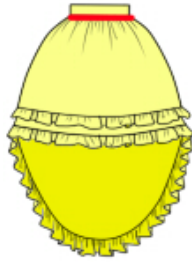
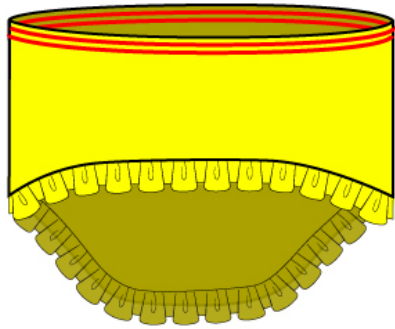
レースとスカートが表同士が内側になるように重ねてください。



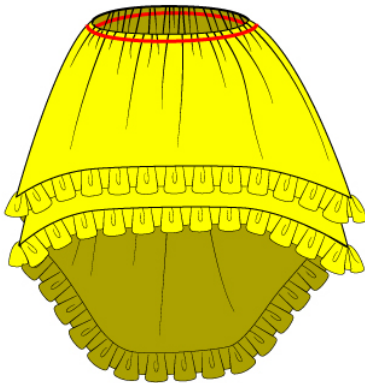
レースやフリルは縫い始めの方の端を折ってから縫うと端が表から見えずにきれいです。  
端が目立たないように脇か、すそから縫い始めるといいですよ。



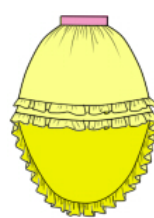
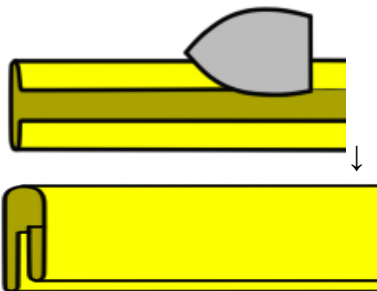
フリルを表替えして、表から2~5mmの所を縫って縫い代を固定してください。  
フリルではなく、レースでも可愛いですよ。  
ライン上にレースやリボンなどをつけるだけで全然違う雰囲気になります。



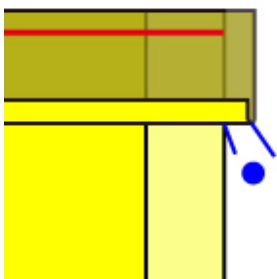
上側にギャザーをよせてください



下スカートの上に上スカートを重ねてください。



ウエストベルトはあらかじめアイロンで縫い代を裏側に折り、さらに半分に折り目を付けてください。

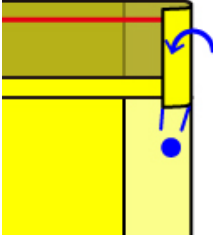
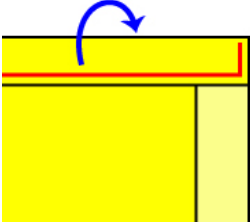
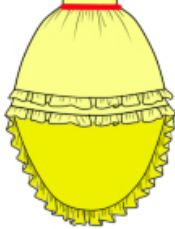
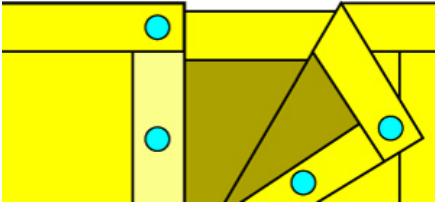


スカートとベルトを表同士が内側になるように重ねてください。

ギャザーの糸を引っ張りながら、スカートとウエストベルトの長さが同じになるように縮めてください。

スカートよりベルトが●=7mmはみ出すように重ねて縫ってください。

薄い黄色は持ち出しというパーツ

	<p>両端の縫い代を裏へ折ってください。</p>
	 <p>スカートの縫い代をベルトで包んでください。 ベルトを縫ってください。</p>
	<p>スナップボタンを付けてください。</p>

## 必要な道具

表生地、記事にあった色の糸、スナップボタン

## お勧めの生地

### ブ・シーチング

やわらかくて、薄手ですので、縫いやすく価格も手ごろで色、柄も多い生地です。ただ、しわが入りやすい生地です

### ・綿ブロード

シーチングに比べ少し張りがあり、気持ちシワが入りにくいです。薄く扱いやすい生地で、色、柄も多く手に入りやすい素材ですよ。

### ・ポリエステルアムンゼン

柔らかくドレープ感のあるデザインに向いています。

化繊なので軽く、しわが入りにくいです。

軽いです。

ややテロテロしているので裁断のとき少しずれやすいです。